

農 研 速 報

2020 年 9 月 2 日発行
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

大豆の生育状況(8 月 25 日現在, 龍ヶ崎市)

地 域 名	生育ステージ		生育(作柄・品質)概況	備考
	本 年	対平成遅速		
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	里のほほえみ 莢伸長期～ 子実肥大期 納豆小粒 開花終～ 着莢期	1 日早い 2 日遅い	<p>龍ヶ崎市における 7 月第 6 半月～8 月第 4 半月の気象および大豆の生育概況は、下記のとおりである。</p> <p>【気象】 気 温: 平均気温は平年より 0.5℃高かった(図 1)。 降 水 量: 平年比 14%とかなり少なかった(図 2)。特に, 8 月第 1 半月～第 4 半月は降雨がなかった。 日照時間: 平年比 121%とやや長かった(図 3)。</p> <p>【生育】 開花期は平年に比べ, 「里のほほえみ」が 7 月 31 日と 1 日早く, 「納豆小粒」が 8 月 9 日と 2 日遅かった。「納豆小粒」は 7 月の低温により開花期遅延の影響を受けたが, 「里のほほえみ」は影響が小さかったと推察された。8 月は日照時間が長くなり, 第 2 半月以降は高温となったため, 8 月 25 日および 26 日調査時点の地上部の生育は, 「里のほほえみ」は平年並となり, 「納豆小粒」は平年を下回ったものの, 両品種とも 7 月から大きく回復した。また, 両品種とも一株莢重が平年を上回ったが, これは開花期以降の高温が影響したと推察された。品種別の調査項目の平年値との比較は以下のとおり。</p> <p>里のほほえみ: 分枝数は平年並で, 主茎長はやや短く, 主茎節数はやや少なく, 茎の太さはやや細く, 地上部生体重は平年並であった。一株莢数は平年よりやや多く, 一株莢重はかなり重かった。</p> <p>納豆小粒: 分枝数は平年より多かったが, 主茎長は短く, 主茎節数はやや少なく, 茎の太さはやや細く, 地上部生体重は軽かった。また, 一株莢数は平年並で, 一株莢重はかなり重かった。</p> <p>写真 1 に 8 月 25 日時点の所内大豆の生育状況を示した。</p> <p>【注釈】 1) 対平成遅速は開花期の本年値と平年値の差による。</p>	<p>●病虫害防除をこれまで下記の通り実施した。</p> <p>・害虫防除: 7/8, 7/16, 7/31, 8/14</p> <p>・紫斑病防除: 8/14</p> <p>・葉焼病, ベと病防除: 7/31</p> <p>○紫斑病の防除適期は, 開花期の 20～30 日後頃である。</p> <p>○「里のほほえみ」は, ベと病が発病しやすい傾向があるため, 防除に努める。</p> <p>○病虫害の情報や防除対策は, 病虫害防除部のホームページを参照する。 (http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/)</p>

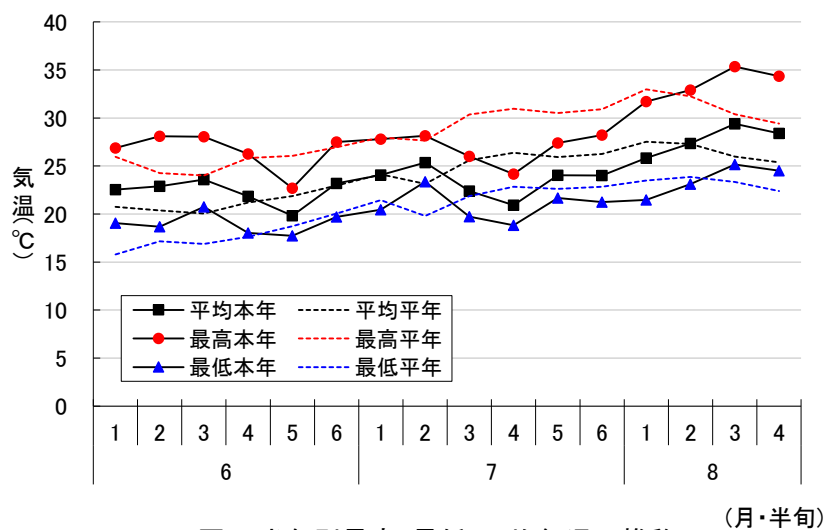


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)

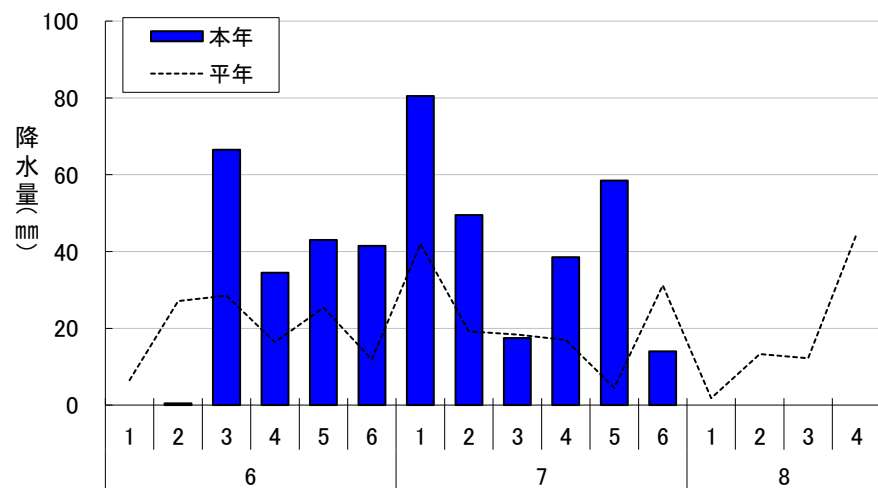


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)

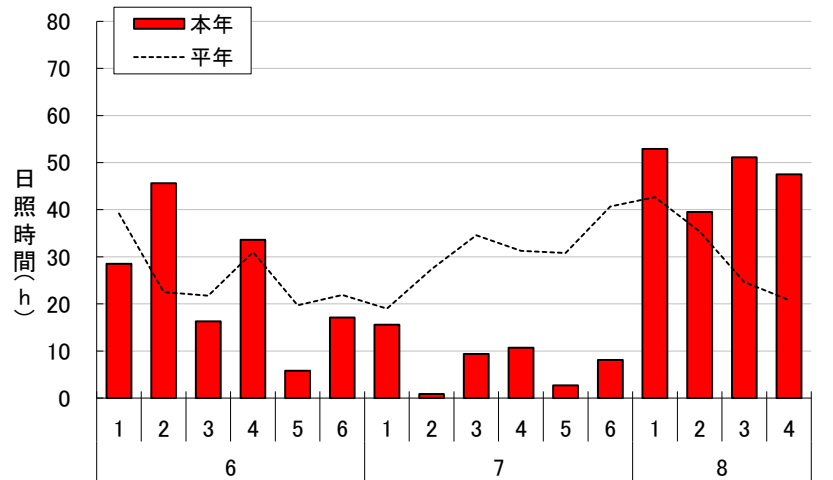


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)

表 1 輪換畑における大豆の生育（龍ヶ崎市，水田利用研究室）

品 種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	7.31	8.04	8.01	52	82	85	13.2	94	92	4.3	84	97	11.3	85	88
納豆小粒	8.09	8.09	8.07	61	98	79	15.8	101	93	8.6	106	122	9.7	91	89

品 種	地上部生体重			一株莢数			一株莢重		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	247.4	98	97	93.4	111	110	57.2	220	224
納豆小粒	203.5	79	76	148.7	104	99	9.7	178	162

【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換3年目（前作麦）
- 2) 播種期：6月18日
- 3) 播種密度：11.1株/㎡（畦間60cm，株間15cm）1本立て
- 4) 基肥：N-P₂O₅-K₂O＝0.3-1.2-1.2kg/a
- 5) 中耕・培土：7月13日（子葉節まで実施）、7月28日（初生葉節まで実施）

【注釈】

- 1) 生育調査は8月25日と26日に実施
- 2) 茎の太さは子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
- 3) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ

【平年値】

平成27年～令和元年播種の5ヵ年の平均値



写真 1 所内大豆の生育状況(8月27日撮影, 左から里のほほえみ, 納豆小粒)